



生成AI使ったゴミ出し案内サービスの導入断念 香川 三豊市

2023年12月20日 4時47分 生成AI・人工知能

生成AI「ChatGPT」を使ったゴミ出し案内サービスの実証実験を進めていた香川県三豊市は、AIによる正しい回答の割合が目標に届かなかったことから、本格導入を断念しました。

三豊市と東京大学大学院の松尾豊教授の研究室は、ことし6月から「ChatGPT」を使ったゴミ出し案内の実証実験を開始しました。

市のホームページの専用画面で、ゴミの種類や内容などを入力すると、AI＝人工知能が分別や処分の方法を考えて文章で表示するものですが、正しい回答の割合が62.5%にとどまったため、7月7日に実証実験を休止しました。

そのあと、さまざまな改善を行って、10月23日から先月末まで2回目の実証実験を行いました。

正答率が99%まで向上すれば、導入に向けて準備を進めることにしていましたが、2回目の実証実験でも正答率が94.1%にとどまったことなどから、本格的な導入を断念することを決めました。

三豊市では「今回得た知見を生かし、市役所全体で、市民サービスの向上のためにChatGPTが活用できるか探っていく」としています。

あわせて読みたい



教えてChat GPT！ハンガーは燃えるゴミ？ 香川の自治体で導入



香川県のニュース・深掘り記事

ニュースを検索 検索

ビジネスニュースランキング

- 【詳細】日銀 植田総裁会見 チャレンジング意味は？ 緩和は維持
- ENEOS社長 酒に酔い女性に抱きつき解任 度を越えた飲酒と説明
- “給料は変わらず休みは増加” 人材獲得できるのか？
- 「中央銀行は廃止」過激な主張のアルゼンチン新大統領の手腕は
- 株価一時400円超値上がり 日銀大規模な金融緩和策の維持決定で

サクサク経済Q&A
注目ニュースのポイントをQ&A方式で解説！

おはBiz 5分でわかる経済トレンド

天気予報・防災情報



▶ 詳細を見る

最新・注目の動画



▶ 動画一覧を見る

ソーシャルランキング

この2時間のツイートが多い記事です